

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(1/1)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
小高区沖合 3 k m付近(T-S2) ※2	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/11/9	< 6.1E+00	< 5.2E+00	ND
2 F敷地沖合 2 k m付近(T-S7) ※1	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/11/9	< 3.7E+00	< 3.4E+00	ND
小高区沖合 1 5 k m付近(T-B1) ※2	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/12/6	< 6.6E+00	< 5.5E+00	ND
請戸川沖合 1 8 k m付近(T-B2) ※2	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/12/6	< 6.3E+00	< 5.5E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。

※1 分析機関：東京パワーテクノロジー(株)

※2 分析機関：(株)化研

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(1/6)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
太田川沖合1km付近(T-S1) ※1	イシガレイ(筋肉)	2022/12/8	< 3.1E+00	< 3.7E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1) ※1	カナガシラ(筋肉)	2022/12/8	< 3.4E+00	< 3.5E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1) ※1	クロダイ(筋肉)	2022/12/8	< 3.4E+00	< 3.2E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1) ※1	コモンカスベ(筋肉)	2022/12/8	< 3.5E+00	< 3.4E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1) ※1	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/12/8	< 3.8E+00	< 3.3E+00	ND
太田川沖合1km付近(T-S1) ※2	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/12/8	< 6.2E+00	< 4.9E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2) ※1	カナガシラ(筋肉)	2022/12/8	< 4.5E+00	< 3.9E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2) ※1	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/12/8	< 3.8E+00	< 3.4E+00	ND
小高区沖合3km付近(T-S2) ※2	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/12/8	< 5.1E+00	< 4.8E+00	ND
請戸川沖合3km付近(T-S3) ※2	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/12/22	< 5.1E+00	< 5.3E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。

※1 分析機関：東京パワーテクノロジー(株)

※2 分析機関：(株)化研

- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(2/6)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
請戸川沖合 3 km 付近(T-S3) ※1	ホウボウ(筋肉)	2022/12/22	< 3.6E+00	< 3.1E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 km 付近(T-S4) ※1	ドチザメ(筋肉)	2022/12/22	< 3.3E+00	6.1E+00	6.1E+00
1 F 敷地沖合 3 km 付近(T-S4) ※1	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/12/22	< 3.6E+00	< 2.9E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 km 付近(T-S4) ※2	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/12/22	< 5.5E+00	< 5.6E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 km 付近(T-S4) ※1	ホウボウ(筋肉)	2022/12/22	< 3.5E+00	< 2.9E+00	ND
1 F 敷地沖合 3 km 付近(T-S4) ※1	メイタガレイ(筋肉)	2022/12/22	< 3.3E+00	< 3.9E+00	ND
熊川沖合 4 km 付近(T-S8) ※1	イシガレイ(筋肉)	2022/12/22	< 3.8E+00	< 3.5E+00	ND
熊川沖合 4 km 付近(T-S8) ※1	カスザメ(筋肉)	2022/12/22	< 3.6E+00	< 4.3E+00	ND
熊川沖合 4 km 付近(T-S8) ※1	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/12/22	< 3.3E+00	< 3.3E+00	ND
熊川沖合 4 km 付近(T-S8) ※1	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/12/22	< 4.1E+00	< 3.4E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。

※1 分析機関：東京パワーテクノロジー(株)

※2 分析機関：(株)化研

- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(3/6)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
熊川沖合4km付近(T-S8)※1	ホウボウ(筋肉)	2022/12/22	< 3.5E+00	< 3.6E+00	ND
熊川沖合4km付近(T-S8)※1	マコガレイ(筋肉)	2022/12/22	< 4.1E+00	< 3.4E+00	ND
熊川沖合4km付近(T-S8)※1	マトウダイ(筋肉)	2022/12/22	< 3.0E+00	< 3.1E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)※1	カナガシラ(筋肉)	2022/12/13	< 3.5E+00	< 4.2E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)※1	ショウサイフグ(筋肉)	2022/12/13	< 3.9E+00	< 3.6E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)※1	チダイ(筋肉)	2022/12/13	< 3.5E+00	< 3.9E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)※2	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/12/13	< 6.0E+00	< 5.4E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)※1	マコガレイ(筋肉)	2022/12/13	< 3.3E+00	< 3.1E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)※1	マダイ(筋肉)	2022/12/13	< 3.8E+00	< 3.8E+00	ND
小高区沖合1.5km付近(T-B1)※1	マトウダイ(筋肉)	2022/12/13	< 3.7E+00	< 3.4E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。

※1 分析機関：東京パワーテクノロジー(株)

※2 分析機関：(株)化研

- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(4/6)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
小高区沖合15km付近(T-B1)※1	ムシガレイ(筋肉)	2022/12/13	< 3.7E+00	< 3.5E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)※1	カナガシラ(筋肉)	2022/12/13	< 3.5E+00	< 3.4E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)※1	コモンカスベ(筋肉)	2022/12/13	< 4.0E+00	< 3.5E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)※1	チダイ(筋肉)	2022/12/13	< 3.8E+00	< 4.3E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)※1	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/12/13	< 3.4E+00	< 3.5E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)※2	ヒラメ(筋肉)No.2	2022/12/13	< 6.3E+00	< 5.2E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)※1	マトウダイ(筋肉)	2022/12/13	< 3.4E+00	< 3.4E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)※1	ムシガレイ(筋肉)	2022/12/13	< 4.1E+00	< 3.5E+00	ND
請戸川沖合18km付近(T-B2)※1	メイタガレイ(筋肉)	2022/12/13	< 3.8E+00	< 3.2E+00	ND
1F敷地沖合10km付近(T-B3)※1	シヨウサイフグ(筋肉)	2022/12/20	< 3.2E+00	< 3.6E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。

※1 分析機関：東京パワーテクノロジー(株)

※2 分析機関：(株)化研

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(5/6)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
1 F 敷地沖合 1 0 k m 付近(T-B3) ※1	チダイ(筋肉)	2022/12/20	< 3.8E+00	< 3.9E+00	ND
1 F 敷地沖合 1 0 k m 付近(T-B3) ※1	ホシザメ(筋肉)	2022/12/20	< 3.0E+00	< 3.2E+00	ND
1 F 敷地沖合 1 0 k m 付近(T-B3) ※1	マコガレイ(筋肉)	2022/12/20	< 3.9E+00	< 3.5E+00	ND
1 F 敷地沖合 1 0 k m 付近(T-B3) ※1	メイタガレイ(筋肉)	2022/12/20	< 4.1E+00	< 3.2E+00	ND
2 F 敷地沖合 1 0 k m 付近(T-B4) ※1	カナガシラ(筋肉)	2022/12/20	< 3.7E+00	4.5E+00	4.5E+00
2 F 敷地沖合 1 0 k m 付近(T-B4) ※1	コモンカスベ(筋肉)	2022/12/20	< 3.6E+00	< 4.0E+00	ND
2 F 敷地沖合 1 0 k m 付近(T-B4) ※1	ショウサイフグ(筋肉)	2022/12/20	< 3.8E+00	< 3.1E+00	ND
2 F 敷地沖合 1 0 k m 付近(T-B4) ※1	チダイ(筋肉)	2022/12/20	< 3.6E+00	< 3.9E+00	ND
2 F 敷地沖合 1 0 k m 付近(T-B4) ※2	ヒラメ(筋肉)No.1	2022/12/20	< 6.0E+00	< 5.2E+00	ND
2 F 敷地沖合 1 0 k m 付近(T-B4) ※1	ハウボウ(筋肉)	2022/12/20	< 4.0E+00	< 3.9E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。

※1 分析機関：東京パワーテクノロジー(株)

※2 分析機関：(株)化研

・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

魚介類の分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(γ)

(6/6)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目		
			Cs-134 (Bq/kg(生))	Cs-137 (Bq/kg(生))	Cs合計 (Bq/kg(生))
2 F 敷地沖合 1 0 k m 付近(T-B4) ※1	ホシザメ(筋肉)	2022/12/20	< 3.0E+00	< 3.3E+00	ND
2 F 敷地沖合 1 0 k m 付近(T-B4) ※1	マダイ(筋肉)	2022/12/20	< 3.2E+00	< 3.4E+00	ND
2 F 敷地沖合 1 0 k m 付近(T-B4) ※1	マトウダイ(筋肉)	2022/12/20	< 4.0E+00	< 3.2E+00	ND
2 F 敷地沖合 1 0 k m 付近(T-B4) ※1	メイタガレイ(筋肉)	2022/12/20	< 3.7E+00	< 3.4E+00	ND

- ・核種毎の半減期：Cs-134(約2年), Cs-137(約30年)
- ・不等号(<:小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。
- ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。

※1 分析機関：東京パワーテクノロジー(株)

※2 分析機関：(株)化研

- ・〇.〇E±〇とは、〇.〇×10^{±〇}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31, 3.1E+00は3.1×10⁰で3.1, 3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

魚介類分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(H-3)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目				参考 Cs合計 (Bq/kg(生))	試料名	採取日	参考 H-3 (Bq/L)
			H-3(Bq/L)		H-3(Bq/kg(生))					
			組織自由水型	有機結合型	組織自由水型	有機結合型				
太田川沖合1km付近 (T-S1) ^{※2}	ヒラメ(筋肉)	2022/6/3	1.5E-01	< 2.8E-01	1.2E-01	< 4.1E-02	ND	海水	2022/6/2	< 6.8E-02
小高区沖合3km付近 (T-S2) ^{※2}	ヒラメ(筋肉)	2022/6/3	1.2E-01	< 3.9E-01	9.6E-02	< 5.5E-02	ND	海水	2022/6/2	< 7.4E-02
請戸川沖合3km付近 (T-S3) ^{※2}	ヒラメ(筋肉)	2022/6/23	1.2E-01	< 2.6E-01*	9.5E-02	< 3.8E-02*	ND	海水	2022/6/22	1.4E-01
1F敷地沖合3km付近 (T-S4) ^{※2}	ヒラメ(筋肉)	2022/6/23	1.3E-01	< 2.7E-01	1.0E-01	< 4.2E-02	ND	海水	2022/6/22	1.4E-01
木戸川沖合2km付近 (T-S5) ^{※2}	ヒラメ(筋肉)	2022/6/30	1.5E-01	< 2.8E-01	1.2E-01	< 4.1E-02	ND	海水	2022/6/29	1.1E-01
2F敷地沖合2km付近 (T-S7)	ヒラメ(筋肉)	2022/6/30	— ^{※4*}	— ^{※4*}	— ^{※4*}	— ^{※4*}	ND	海水	2022/6/29	3.9E-01
熊川沖合4km付近 (T-S8) ^{※1}	ヒラメ(筋肉)	2022/6/28	7.5E-02	< 2.7E-01	5.7E-02	< 4.1E-02	ND	海水	2022/6/27	7.5E-02
小高区沖合15km付近 (T-B1)	ヒラメ(筋肉)	2022/6/21	— ^{※4}	— ^{※4}	— ^{※4}	— ^{※4}	ND	海水	2022/6/21	< 3.3E-01
請戸川沖合18km付近 (T-B2)	マコガレイ(筋肉)	2022/6/21	— ^{※4}	—	— ^{※4}	—	ND	海水	2022/6/21	< 3.3E-01
1F敷地沖合10km付近 (T-B3)	ヒラメ(筋肉)	2022/6/28	— ^{※4}	— ^{※4}	— ^{※4}	— ^{※4}	ND	海水	2022/6/28	< 3.3E-01
2F敷地沖合10km付近 (T-B4)	ヒラメ(筋肉)	2022/6/28	— ^{※4}	— ^{※4}	— ^{※4}	— ^{※4}	ND	海水	2022/6/28	< 3.3E-01
WHOの飲料水水質ガイドライン ^{※3}								1.0E+04		

・海水の採取深度は表層
 ・核種毎の半減期：H-3(約12年)，Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)
 ・不等号(<：小なり)は，検出限界値未満(ND)を表す。
 ・採取中止および採取できなかった場合，ならびに試料量不足により分析中止の項目は「—」と記す。
 ・○.○E±○とは，○.○×10^{±○}であることを意味する。
 (例) 3.1E+01は3.1×10¹で31，3.1E+00は3.1×10⁰で3.1，3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。
 ・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134，Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。
 ・組織自由水型トリチウムとは，動植物の組織内に水の状態で存在し，水と同じように組織外へ排出されるトリチウム。
 有機結合型トリチウムとは，動植物の組織内のタンパク質などに有機的に結合して組織内に取り込まれ，細胞の代謝により組織外へ排出されるトリチウム。
 ・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>
 ・「*」以外は既にお知らせ済み。
 ※1 分析機関：(一財)九州環境管理協会
 ※2 分析機関：(株)化研
 ※3 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける，H-3の指標
 ※4 2022年8月以降手順の見直しを実施。改善された手順による再分析に必要な試料量が残っていないため分析中止。

魚介類分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(H-3)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目				参考 Cs合計 (Bq/kg(生))	試料名	採取日	参考 H-3 (Bq/L)
			H-3(Bq/L)		H-3(Bq/kg(生))					
			組織自由水型	有機結合型	組織自由水型	有機結合型				
太田川沖合1km付近 (T-S1) ^{※2}	ヒラメ(筋肉)	2022/7/22	< 7.6E-02	< 2.9E-01	< 5.9E-02	< 3.9E-02	ND	海水	2022/7/21	2.1E-01
小高区沖合3km付近 (T-S2) ^{※2}	ヒラメ(筋肉)	2022/7/22	< 7.6E-02	< 2.6E-01	< 6.0E-02	< 3.5E-02	ND	海水	2022/7/21	2.0E-01
請戸川沖合3km付近 (T-S3) ^{※2}	ヒラメ(筋肉)	2022/7/12	1.3E-01	< 2.9E-01	1.0E-01	< 4.0E-02	ND	海水	2022/7/11	1.3E-01
1F敷地沖合3km付近 (T-S4) ^{※2}	ヒラメ(筋肉)	2022/7/12	1.1E-01	< 2.7E-01	8.9E-02	< 3.9E-02	ND	海水	2022/7/11	1.3E-01
木戸川沖合2km付近 (T-S5) ^{※2}	ヒラメ(筋肉)	2022/7/21	< 8.2E-02	< 2.8E-01	< 6.3E-02	< 4.0E-02	ND	海水	2022/7/20	1.3E-01
2F敷地沖合2km付近 (T-S7)	ヒラメ(筋肉)	2022/7/21	_ ^{※4}	_ ^{※4}	_ ^{※4}	_ ^{※4}	ND	海水	2022/7/20	< 3.3E-01
熊川沖合4km付近 (T-S8) ^{※1}	ヒラメ(筋肉)	2022/7/14	8.5E-02	< 2.8E-01	6.6E-02	< 4.2E-02	ND	海水	2022/7/13	8.1E-02
小高区沖合15km付近 (T-B1)	-	-	-	-	-	-	-	海水	2022/8/5	< 3.2E-01
請戸川沖合18km付近 (T-B2)	-	-	-	-	-	-	-	海水	2022/8/5	< 3.2E-01
1F敷地沖合10km付近 (T-B3)	-	-	-	-	-	-	-	海水	-	-
2F敷地沖合10km付近 (T-B4)	-	-	-	-	-	-	-	海水	-	-
WHOの飲料水水質ガイドライン ^{※3}								1.0E+04		

・海水の採取深度は表層

・核種毎の半減期：H-3(約12年)，Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年)

・不等号(<：小なり)は，検出限界値未満(ND)を表す。

・採取中止および採取できなかった場合，ならびに試料量不足により分析中止の項目は「-」と記す。

・○，○E±○とは，○×10^{±○}であることを意味する。

(例) 3.1E+01は3.1×10¹で31，3.1E+00は3.1×10⁰で3.1，3.1E-01は3.1×10⁻¹で0.31と読む。

・基準値(2012年4月1日以降)Cs-134，Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。

・組織自由水型トリチウムとは，動植物の組織内に水の状態で存在し，水と同じように組織外へ排出されるトリチウム。

有機結合型トリチウムとは，動植物の組織内のタンパク質などに有機的に結合して組織内に取り込まれ，細胞の代謝により組織外へ排出されるトリチウム。

・分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 <https://www.tepco.co.jp/press/report/>

・T-S8は既にお知らせ済み。

※1 分析機関：(一財)九州環境管理協会

※2 分析機関：(株)化研

※3 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける，H-3の指標

※4 2022年8月以降手順の見直しを実施。改善された手順による再分析に必要な試料量が残っていないため分析中止。

魚介類分析結果<福島第一原子力発電所20km圏内>(H-3)

採取地点	試料名 (部位)	採取日	分析項目				参考 Cs合計 (Bq/kg(生))	試料名	採取日	参考 H-3 (Bq/L)
			H-3(Bq/L)		H-3(Bq/kg(生))					
			組織自由水型	有機結合型	組織自由水型	有機結合型				
太田川沖合1km付近 (T-S1) ^{※2}	ヒラメ(筋肉)	2022/8/4	1.3E-01	< 2.6E-01	1.0E-01	< 4.2E-02	ND	海水	2022/8/3	< 7.8E-02
小高区沖合3km付近 (T-S2) ^{※2}	ヒラメ(筋肉)	2022/8/4	1.5E-01	< 2.6E-01	1.1E-01	< 3.7E-02	ND	海水	2022/8/3	1.0E-01
請戸川沖合3km付近 (T-S3) ^{※2}	ヒラメ(筋肉)	2022/8/3	1.2E-01	< 2.6E-01	9.4E-02	< 3.9E-02	ND	海水	2022/8/2	< 7.7E-02
1F敷地沖合3km付近 (T-S4) ^{※2}	ヒラメ(筋肉)	2022/8/3	1.4E-01	< 2.6E-01	1.0E-01	< 4.3E-02	ND	海水	2022/8/2	< 7.7E-02
木戸川沖合2km付近 (T-S5) ^{※2}	ヒラメ(筋肉)	2022/8/30	1.0E-01	< 2.6E-01	7.8E-02	< 3.8E-02	ND	海水	2022/8/29	8.8E-02
2F敷地沖合2km付近 (T-S7)	ヒラメ(筋肉)	2022/8/30	— ^{※4}	— ^{※4}	— ^{※4}	— ^{※4}	ND	海水	2022/8/29	< 3.2E-01
熊川沖合4km付近 (T-S8) ^{※1}	—	—	—	—	—	—	—	海水	2022/8/8	7.9E-02
小高区沖合15km付近 (T-B1)	—	—	—	—	—	—	—	海水	2022/8/26	< 3.1E-01
請戸川沖合18km付近 (T-B2)	—	—	—	—	—	—	—	海水	2022/8/26	< 3.1E-01
1F敷地沖合10km付近 (T-B3)	—	—	—	—	—	—	—	海水	2022/8/30	< 3.2E-01
2F敷地沖合10km付近 (T-B4)	—	—	—	—	—	—	—	海水	2022/8/30	< 3.2E-01
・ 海水の採取深度は表層 ・ 核種毎の半減期：H-3(約12年)，Cs-134(約2年)，Cs-137(約30年) ・ 不等号(<)：小なり)は、検出限界値未満(ND)を表す。 ・ 採取中止および採取できなかった場合、ならびに試料量不足により分析中止の項目は「—」と記す。 ・ ○.○E±○とは、○.○×10 ^{±○} であることを意味する。 (例) 3.1E+01は3.1×10 ¹ で31、3.1E+00は3.1×10 ⁰ で3.1、3.1E-01は3.1×10 ⁻¹ で0.31と読む。 ・ 基準値(2012年4月1日以降)Cs-134、Cs-137の合計：1.0E+02Bq/kg。 ・ 組織自由水型トリチウムとは、動物の組織内に水の状態が存在し、水と同じように組織外へ排出されるトリチウム。 有機結合型トリチウムとは、動物の組織内のタンパク質などに有機的に結合して組織内に取り込まれ、細胞の代謝により組織外へ排出されるトリチウム。 ・ 分析結果の評価については「福島第一原子力発電所の状況について(日報)」を参照 https://www.tepco.co.jp/press/report/ ※1 分析機関：(一財)九州環境管理協会 ※2 分析機関：(株)化研 ※3 WHOの飲料水水質ガイドラインにおける、H-3の指標 ※4 2022年8月以降手順の見直しを実施。改善された手順による再分析に必要な試料量が残っていないため分析中止。								WHOの飲料水水質ガイドライン ^{※3}		1.0E+04